

受賞名	優秀賞	部門名	建築部門
作品名	緑と暮らす ECO-APARTMENT		
応募者名	株式会社夢・建築工房 代表取締役 岸野 浩太		
住宅の概要	住所 埼玉県東松山市	構造・階数 木造2階	延床面積 487.47 m ²
環境への工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自然材料の利用や資源循環の長寿命化に関する工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 2 省エネ設計手法に関する工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 3 自然と共生し、自然通風など自然力利用に関する工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域の林業、気候風土・歴史的技術の継承などへの工夫 <input type="checkbox"/> 5 災害時でのLCPが継続できる工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 6 その他の独創的な工夫		
作品の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・全住戸 BLS (建築物省エネルギー性能表示) ★★★★★取得 ・躯体の高い省エネ性能 (高断熱、樹脂サッシ (トリプルガラス及びペアガラス)、高断熱玄関ドア) ・高い性能による快適性: 各住戸エアコン1台で全館冷暖房 ・緑豊かな植栽計画によって、住民が季節を感じ、安らぎを得られる住居環境を実現 ・自然素材を多用した内外装 (水蒸気を通す紙クロス、無垢木材、木の羽目板の外壁) ・構造材には、JAS認定の埼玉県産材を活用 ・入居者の協力を得て、温湿度・エアコンの稼働状況をモニタリング中 ・新築賃貸住宅として相場より賃料が高いにもかかわらず、入居開始2か月前には満室となる。快適に暮らせているという感想が聞かれ、高性能住宅への関心の高まり、住宅の省エネ化が広がるきっかけとなってほしい。 		
講評	<p>集合住宅は投資物件であることが多いため、なかなか高断熱・省エネ化が進まない。その中で本作は、集合住宅で上記にチャレンジ、それだけでも評価が高いが、その上にそれぞれ高い性能を実現し、さらに完成後の検証も行っている。ハードだけでなく、全体の取り組みとして高く評価できる。意匠的にも床に無垢材、外観に木材を多用し、敷地に豊富な植栽を配置していることも好感が持てる。惜しくも最優秀賞にはならなかったが、甲乙つけがたい内容であり、やはり戸建て住宅のデザインの自由度が優ったとの印象である。ただ、本作は大変重要な例であるので、今後の冬の測定データや入居者の声の公表に期待する。(講評者: 松岡委員)</p>		